

【自然地理学奨学基金報告書】

埼玉県秩父市大滝地区における小学校の統合および地域住民の受容と葛藤に関する調査報告

長尾 悠里

I はじめに

筆者は、卒業論文を作成するため、埼玉県秩父市大滝地区においてこれまで実施されてきた学校統合の特徴を明らかにするとともに、その要因の分析を行った。研究に用いたデータは、学校統合当時の地域住民14名、秩父市教育委員会、大滝総合支所への聞き取り調査、ならびに資料の分析と学校跡地の観察により得たものである。この調査の実施において、大滝地区への移動にかかった交通費の一部に、自然地理学奨学基金を使用した。ここに、大滝地区の概要とそこで行った調査の内容を報告し、自然地理学奨学基金ならびに調査協力を得た大滝地区の関係者の皆様に感謝の意を表す。なお、調査結果に基づき執筆した卒業論文の内容については、本誌に掲載した論文要旨「学校統合への葛藤が潜在化した地域における統合要因の分析—埼玉県秩父市大滝地区を事例に—」を参照されたい。

II 調査地域の概要

調査の実施地である埼玉県秩父市大滝地区は、埼玉県の西端に位置する(図1)。地区の大部分は山林であり、集落は河川沿いに位置している。1877年に秩父郡大滝村として設立され、1889年の近隣2村との合併以降も独立した自治体として存続してきたが、2005年に同じ秩父地域内にあった(旧)秩父市、荒川村、吉田町と合併し、新設された現在の秩父市の一部となっている。調査対象となった大滝総合支所は、合併以前は大滝村役場として機能していた。

III 主な調査内容

1. 大滝総合支所への調査

大滝総合支所では、2016年7月に、職員への聞き取り調査と資料閲覧を行った。

聞き取り調査では、かつて地区内に立地していた小学校のうちの1校における統合の議論に実際に関わった職員にお話を伺った。質問内容は、統合を行うまでの議論の経過や、統合に関して実際に行ったこと、対象校と校



図1 秩父市大滝地区

表1 大滝地区内で閲覧・提供を受けた資料

大滝総合支所
・大滝の教育(昭和62年度版教育要覧)
・大滝村教育要覧(平成14年度版, 平成16年度版)
・光岩小学校閉校記念誌
地域住民
・大滝小学校閉校記念誌
・大滝小学校中双里分校閉校記念誌
・光岩小学校閉校記念誌
・上中尾小学校閉校記念誌
・中津川小学校閉校記念誌
・小倉沢小・中学校閉校記念誌
・大滝中学校閉校記念誌
・大滝村閉村記念誌
・大滝村誌資料編写真集
・大滝カルタ
・みつみ山(三峯神社社報)
・中双里分校学校案内(昭和45年度版)
・中双里分校閉校記念碑々文並寄付者御芳名
・光岩小学校閉校記念事業関連資料
・『木造校舎の思い出 芦澤明子写真集』光村印刷
・『写真と証言でよみがえる 秩父鉾山』同時代社

区住民の関わりなどである。また、大滝村時代の教育要覧や小学校の閉校記念誌も閲覧した(表1)。

2. 地域住民への調査

地域住民への調査は、2016年8月から10月にかけて、大滝地区内の各小学校で学校統合の議論が生じた際、該当する小学校の校区に居住していた11名を対象に、大滝地区で行った¹⁾。まず、大滝総合支所の協力により紹介

された住民に対して聞き取り調査を行い、その後、聞き取り調査を行った住民の協力により、対象者を増やした。

聞き取り調査は、各住民の自宅や職場で行った。大滝総合支所での聞き取り調査と同内容の質問に加え、人口や産業、交通、生活圏、地域社会等に関わる地区・校区の変化や、学校・教育に関する考え、学校の跡地利用についても伺った。また、関連資料の閲覧や提供の便宜を受けた（表1）。

3. 学校跡地の観察

学校跡地の観察は、2016年8月から9月にかけて行った。立地状況や校舎の有無、校舎やグラウンドの保存状

況、跡地利用の有無・用途、校区内における学校の位置を、周辺集落も含めて観察した。また、跡地や周辺の写真撮影も行った。

注

- 1) 当時の地域住民3名への聞き取り調査は、秩父市街地で、ならびに電話を通じて行った。

ながお・ゆうり

お茶の水女子大学大学院生

An Investigative Report on the Consolidation of Elementary Schools in Relation to Local Community Acceptance or Conflict in Otaki District, Chichibu City, Saitama Prefecture

NAGAO Yuuri (Graduate student, Ochanomizu University)